

2018年11月15日

道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発組合  
東急不動産株式会社

## 道玄坂一丁目駅前地区第一種市街地再開発事業

## ビル名称を「渋谷フクラス (SHIBUYA FUKURAS)」に決定

～100年に1度と言われる再開発が進む渋谷で、訪れる人々の幸福を膨らませる場所に～

道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発組合と、同組合の組合員および参加組合員として参画している東急不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:大隈 郁仁)は、共に事業を推進している「道玄坂一丁目駅前地区第一種市街地再開発事業」(以降、本プロジェクト)のビル名称を、「渋谷フクラス(SHIBUYA FUKURAS)」(以降、本ビル)に決定したことをお知らせいたします。

SHIBUYA  
FUKURAS

「渋谷フクラス」ロゴ



「渋谷フクラス」外観(北東側)イメージ(日中/夜)



「渋谷フクラス」という名称には、「膨らす(膨らます)」という日本語から、渋谷および本ビルを訪れるすべての人々の幸福を大きく膨らませていきたいという思いを込めました。

本ビルの建築コンセプトは「小さな物語の集積」です。多様な人や文化が混在し、集まり成長していく過程で小さな物語が生まれ、その集合体が街をかたどっていく渋谷のように、小さな結晶体が集まりビルの外観が形成されていきます。ロゴマークは、街のエネルギーが凝縮された、結晶体のような本ビルの外観から「膨らむ結晶体」を表現。ロゴカラーのシルバーは、洗練・品格・先進の印象を打ち出すとともに、すべての色(個性)を輝かすことのできる柔軟性や多様性を表現しました。

これまで多くの流行や文化を生み出し、成長してきた渋谷において、現在、東急グループは「エンタテインメントシティ SHIBUYA」を掲げ、100年に1度と言われる再開発を関係者と協力して推進しています。渋谷の魅力である「多様な人・文化・個性の混在」を活かし続け、世界を牽引する新しいビジネスやカルチャーを発信することが渋谷再開発のビジョンです。

本プロジェクトが目指すのは新しいだけの渋谷ではなく、これまで渋谷という街で生み出されてきた結晶体のような小さな物語を集め、さらには世界中のあらゆる人や企業を受け入れながら、そこに集う人々の「幸福」を未来に向けて「膨らませていく」場所です。渋谷を訪れる国内外の多くの人々を迎える玄関口として、来街者の快適さを重視した街と人をつなぐ仕掛けを取り入れ、多くの交流を生み出し、街ににぎわいを創出します。



## ■ 「渋谷フクラス」名称・ロゴマークについて

ふくらす。それは「膨らます」を意味する日本語「膨らす」。新たなトレンドの発信拠点・渋谷で、自分らしく暮らすことで得られる「幸福」を、本ビルを介して大きく膨らませていく。あらゆる人々が豊かな人生を楽しめる場所、「渋谷フクラス」。

ロゴは、建築コンセプトである「小さな物語の集積」のように、訪れる人の想い・物語が原石として集い、凝縮されて、一人ひとりの「幸福」が膨らんでいく結晶体を表現しました。



## ■ 道玄坂一丁目駅前地区第一種市街地再開発事業 概要

2019年秋の竣工を予定している本プロジェクトは、旧東急プラザ渋谷および隣接する街区を一体開発するもので、東急グループが関係者と共に推進中の渋谷駅周辺再開発のプロジェクトのひとつです。

本プロジェクトにおけるビル名称は「渋谷フクラス(SHIBUYA FUKURAS)」です。約5,000坪を誇る9～16階のオフィスフロアには、GMOインターネットグループの入居が決まっています。また17階には、新しいビジネスを生み出す拠点となる産業進出支援施設を備えます。クリエイティブコンテンツ産業や外国企業の進出拠点となる施設を整備することで、企業やクリエイターのスタートアップとなる場を創出します。

2～8階、17・18階には、新時代のニーズに応える商業施設に進化して生まれ変わる「東急プラザ渋谷」が入ります。人生100年時代と言われ、世界に先駆けて超高齢化社会を迎える日本では、人々の価値観やライフスタイル、消費行動が大きく変化する、新しい時代に突入しています。そのような状況の中、新「東急プラザ渋谷」は「都会派の感性が成熟した大人たち」をターゲットに、新しいライフスタイル「MELLOW LIFE」を提案していきます。

また、低層部は、路面店舗が街の賑わいを創出するとともに、地下1階～2階には三井住友銀行が入居予定です。

さらに本プロジェクトでは、本ビル内および周辺にて地域貢献施設の整備も進めてまいります。エレベーターやエスカレーターにより多層な都市基盤をバリアフリーで上下に結ぶアーバン・コア、渋谷駅と本ビルおよび周辺エリアをつなぐ道玄坂連絡デッキを整備。本ビルをハブとして、渋谷駅や周辺エリアへ上下左右に移動しやすい歩行者ネットワークを実現します。

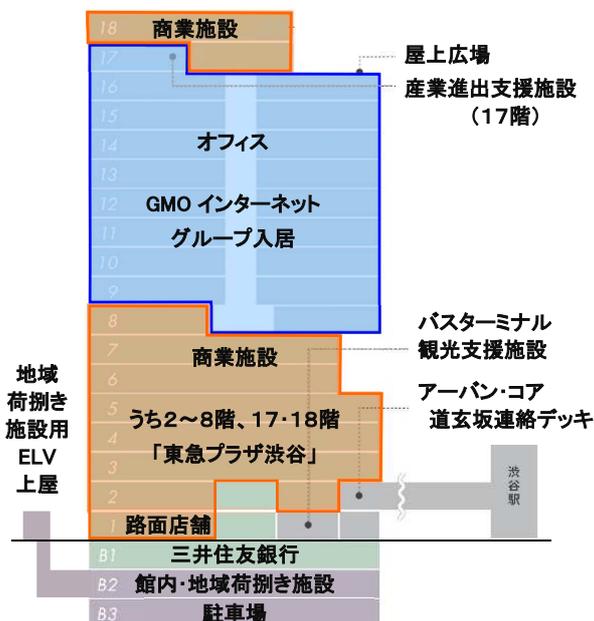
本ビルの1階には、一般路線バスや空港リムジンバスも乗り入れる予定のバスターミナルを設置。手荷物預かり、観光案内などの機能を備えた観光支援施設を併設し、渋谷駅周辺の国際競争力を一段と高めます。

また、本ビル周辺の一部街路についても、来街者が誰でも安心して巡れる憩いの場として再整備を行います。本ビルの地下2階には、地元商店街への配送業者が利用可能な地域荷捌き施設を設置し、来街者の安全性・快適性や街の回遊性を向上し、本ビル周辺の地元商店街の賑わいを創出します。

こうした取り組みを通じて、本プロジェクトでは、渋谷を訪れる多世代やインバウンドの人々にとって渋谷駅西口の新たな玄関口となるとともに、多様性という渋谷の魅力をより一層高めることができるよう、地域とともに賑わいある街並みづくりを進めてまいります。

TOKYU FUDOSAN HOLDINGS GROUP  
**Value Frontier 2020**

価値を創造し続ける企業グループへ





アーバン・コア 道玄坂連絡デッキ(渋谷駅側から)

国道246号線側



バスターミナル



北西側周辺街路



西側周辺街路及び地域荷捌き施設用エレベーター上屋



街路整備範囲(図中黄色部分)

※掲載画像はすべてイメージです

## ■ 事業概要

### 道玄坂一丁目駅前地区第一種市街地再開発事業

事業主体	道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発組合
所在地	東京都渋谷区道玄坂一丁目38番(地番)
用途	店舗、事務所、駐車場等
敷地面積	約3,336㎡
延床面積	約58,970㎡
階数	地下4階～地上18階(建築基準法上は19階)
高さ	約103m
設計者	デザイナー・アーキテクト: 手塚建築研究所 マスター・アーキテクト: 株式会社日建設計 設計・監理: 清水建設株式会社一級建築士事務所
施工者	清水建設株式会社
竣工	2019年秋(予定)

### 計画地



TOKYU FUDOSAN HOLDINGS GROUP  
**Value Frontier 2020**

価値を創造し続ける企業グループへ

